

## 第7章 「スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査」について

この章では、2017年度に実施した「スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査」の結果について報告する。7-1では、調査概要及び単純集計結果を、7-2では、クロス集計結果を報告する。

### 7-1 調査概要及び単純集計結果

大勝志津穂<sup>1)</sup>

#### 1. 調査概要及び日体協「公認スポーツ指導者」について

2017年度は、スポーツ指導者に求められる指導者の配慮について、指導者の考えや経験を把握することを目的に、公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」と略す）のマイページに登録する公認スポーツ指導者（92,695人）を対象に、WEB回答フォームによる調査を実施した。調査内容は、個人的属性、スポーツ指導の状況、性的マイノリティに関する知識と遭遇経験、LGBTに関する認識、LGBTに関する知識習得の必要性と学習行動（現在と今後）、LGBT当事者の認識、LGBTに関する課題認識、性別役割の平等志向に対する考え方である。

##### <調査実施概要>

調査名：スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査

調査時期：2017年2月7日～19日

調査対象：公益財団法人日本体育協会マイページ登録者92,695名  
(2018年1月19日、登録資格保有者の重複除く)

調査方法：WEB調査（WEB回答フォームをメールで配信）

回答者：10,492名（回答率11.3%）

質問数：全21問

調査実施団体：公益財団法人日本体育協会

調査委託業者：（株式会社）マクロミル

表1は2017年度の日体協の公認スポーツ指導者資格者数を示したものである。全体で公認スポーツ指導者は526,728人おり、基礎資格であるスポーツリーダーを除いた登録者数は177,510人となる。スポーツリーダーを除いた資格でみると、「指導員」の登録が62.9%と最も多く、ついで「コーチ」が10.4%となる。競技別登録者数を競技別にみると「サッカー」が23.5%と最も多く、ついで「水泳（11.4%）」「バレーボール（10.8%）」となる。すなわち、競技別にみると、地域のスポーツクラブなどで子ども達や初心者にサッカーやバレーボール、ソフトボールなどの球技種目を指導する人が多くいることがわかる。

#### 2. 個人的属性

回答者の個人的属性を表2に示した。性別では、男性が8割近くとなった。「答えたくない」「わからない」と回答した人も0.6%であるがみられた。年代では、50歳代が3割を超え最も多く、ついで40歳代が3割近くとなった。平均年齢は50.1歳であった。最終学歴では、大学卒業が半数を超えた。指導者資格では、「指導員」が55.9%で最も多く、ついで「コーチ」が15.0%となった。日体協の資格別割合と比較すると、「指導者」の割合が7ポイント程度低いことがわかる。

#### 3. 指導状況

1年間の指導の有無をたずねた結果、「指導した」人が83.9%と8割を超えた（表3）。指導頻度は、「週に2～3回程度」が最も多く3割近くを占め、ついで「週に4～5回程度」「ほぼ毎日」となった。

1) 愛知東邦大学

表1 2017年度日体協の資格別・競技別指導者数

資格名	登録者		競技別登録者数（上位20）	
	n	(%)*	種目	n (%)
競技別指導者資格			順位	
指導員	111,607	(62.9)	1 サッカー	35,938 (23.5)
上級指導員	12,483	(7.0)	2 水泳	17,375 (11.4)
コーチ	18,488	(10.4)	3 バレーボール	16,534 (10.8)
上級コーチ	5,808	(3.3)	4 ソフトボール	12,918 (8.4)
教師	3,282	(1.8)	5 バスケットボール	9,617 (6.3)
上級教師	1,254	(0.7)	6 弓道	4,842 (3.2)
フィットネス資格			7 テニス	4,767 (3.1)
スポーツプログラマー	3,588	(2.0)	8 空手道	4,679 (3.1)
フィットネストレーナー	456	(0.3)	9 陸上競技	3,928 (2.6)
ジュニアスポーツ指導員	4,568	(2.6)	10 スキー	3,767 (2.5)
メディカル・コンディショニング資格			11 ソフトテニス	3,190 (2.1)
アスレティックトレーナー	3,453	(1.9)	12 卓球	3,181 (2.1)
スポーツドクター	5,960	(3.4)	13 バドミントン	3,072 (2.0)
スポーツデンティスト	235	(0.1)	14 軟式野球	2,401 (1.6)
(旧資格)スポーツトレーナー	89	(0.1)	15 山岳	2,009 (1.3)
スポーツ栄養士	253	(0.1)	16 ラグビーフットボール	1,909 (1.2)
マネジメント資格			17 体操	1,907 (1.2)
アシスタントマネジャー	5,588	(3.1)	18 剣道	1,886 (1.2)
クラブマネジャー	398	(0.2)	19 ハンドボール	1,667 (1.1)
その他			20 ゲートボール	1,253 (0.8)
スポーツリーダー	349,218			
合計（スポーツリーダーを除く）	177,510			
合計	526,728		競技別登録者数合計	152,922

(2017年10月1日付)

\*スポーツリーダーを除いた合計に対する割合

すなわち、週2回以上定期的に指導に携わる人が7割近くを占めることがわかった。主に指導した種目をみると「バレーボール」が最も多く、ついで「水泳」「ソフトボール」となった。競技別指導者登録の割合と、回答者が実際に指導した種目をみると、「サッカー」の割合が20ポイント程低く、「バレーボール」の割合が6ポイント程高いことがわかる。

#### 4. 性的マイノリティに関する知識と遭遇経験

性的マイノリティに関する知識について、正しいと思うか否かをたずねた（表4）。全ての項目は正しい内容である。その結果、最も正当者数が多かった項目は「自分の身体的な性別とは

異なる性別で生きたいと願う人がいる」であり75.0%、ついで「同性の人に愛情を感じる人がいる（60.7%）」「身体の性別は、女性または男性のどちらかに明確に分かれるとは限らない(51.2%)」と、一般的な性的マイノリティに関する知識については半数以上の人々が正しい知識を持っていることがわかった。一方、「オリンピック大会には、ある条件を満たした場合のみ、性別を変更した選手が変更後の性別で出場することができる（24.0%）」「スポーツの大会では、女性選手のみ、性別確認のための検査を行うことがある（19.9%）」「同性愛者の国際的なスポーツ大会がある（13.5%）」とスポーツに関わる性的マイノリティに対する知識については正当者数が少な

表2 個人的属性 (n = 10,492)

	n	(%)		n	(%)
性別			指導者資格		
女性	2,120	(20.2)	指導員	5,867	(55.9)
男性	8,317	(79.3)	上級指導員	993	(9.5)
答えたくない	37	(0.4)	コーチ	1,570	(15.0)
わからない	18	(0.2)	上級コーチ	453	(4.3)
			教師	724	(6.9)
年代			上級教師	95	(0.9)
20歳代	698	(6.7)	スポーツプログラマー	327	(3.1)
30歳代	1,407	(13.4)	フィットネストレーナー	50	(0.5)
40歳代	2,756	(26.3)	ジュニアスポーツ指導員	798	(7.6)
50歳代	3,166	(30.2)	アスレティックトレーナー	409	(3.9)
60歳代	1,945	(18.5)	スポーツドクター	352	(3.4)
70歳以上	519	(4.9)	スポーツデンティスト	37	(0.4)
N.A.	1	(0.0)	アシスタントマネジャー	525	(5.0)
平均年齢	50.1歳		クラブマネジャー	93	(0.9)
			(旧資格) スポーツトレーナー	23	(0.2)
最終学歴			その他	296	(2.8)
中学校卒業	65	(0.6)			
高等学校卒業	2,631	(25.1)			
短大・高専卒業	617	(5.9)			
専門学校卒業	859	(8.2)			
大学卒業	5,387	(51.3)			
大学院修了	864	(8.2)			
その他	69	(0.7)			

く、スポーツ指導者であっても、これら問題に対する関心が低いことが明らかとなった。

全てに正当した人(正当数9個)は2.4%と少なく、一方で、「この中に正しいと思うものはない」と回答した人、すなわち正当数が0個だった人が8.9%おり、約1割近くの人が性的マイノリティに関する正しい知識がないことが明らかとなった。

次に、性的マイノリティの人との遭遇経験についてたずねた結果を表5に示した。最も多かったのは「性別がよくわからない人に出会った」であり46.8%、ついで「二人の男性や二人の女性が人前で手をつないでいるのを見た」が43.6%と、「見たことがある」や「出会ったことがある」などの見聞きについて半数近くの人経験していた。一方、「同性の人に言い寄られた(11.3%)」「自分

の性別に悩んでいると打ち明けられた(9.3%)」「前から知っている人に、昔は別の性別だったと打ち明けられた(3.7%)」など直接自分自身が当事者となる経験については、見聞き経験より低い値となった。しかしながら、日本労働組合総連合会の調査(2016)では、職場の人からLGBTであることをカミングアウトされた割合は6.6%であり、スポーツ指導者の周りでは、性に関する相談や性的マイノリティに関して打ち明けられる割合が低いことが明らかとなった。すなわち、スポーツ指導の場面においては、一般的な職場環境よりこのような性的マイノリティで悩む人が多い可能性が示唆された。

## 5. LGBTに関する認識

「LGBT」という言葉を聞いたことがあるか否

表3 指導状況

	n (%)		n (%)
1年間の指導の有無 (n = 10,492)		主に指導した種目上位20 (n = 8,798)	
指導しなかった	1,694 (16.1)	1 バレーボール	1,420 (16.1)
指導した	8,798 (83.9)	2 水泳	699 (7.9)
		3 ソフトボール	690 (7.8)
指導頻度 (n = 8798)		4 テニス・ソフトテニス	628 (7.1)
ほぼ毎日 (週に6回以上)	1,589 (18.1)	5 陸上競技	587 (6.7)
週に4～5回程度	1,619 (18.4)	6 空手道	404 (4.6)
週に2～3回程度	2,554 (29.0)	7 軟式・硬式野球	337 (3.8)
週に1回程度	1,354 (15.4)	8 弓道	336 (3.8)
月に2～3回程度	652 (7.4)	9 ラグビー	289 (3.3)
月に1回程度	439 (5.0)	10 バドミントン	284 (3.2)
2～3ヶ月に1回程度	274 (3.1)	11 卓球	224 (2.5)
半年に1回程度	186 (2.1)	12 サッカー	215 (2.4)
1年に1回程度	110 (1.3)	13 剣道	202 (2.3)
それ以下の頻度	21 (0.2)	14 スキー	169 (1.9)
		15 ハンドボール	159 (1.8)
		16 柔道	135 (1.5)
		17 バスケットボール	116 (1.3)
		18 山岳・登山	104 (1.2)
		19 アーチェリー	92 (1.0)
		20 体操競技	80 (0.9)

表4 性的マイノリティに関する知識の正当について (n = 10,492)

内容	n (%)	正当数	n (%)
自分の身体的な性別とは異なる性別で生きたいと願う人がいる	7,872 (75.0)	1個	1,007 (9.6)
同性の人に愛情を感じる人がいる	6,369 (60.7)	2個	1,175 (11.2)
身体の性別は、女性または男性のどちらかに明確に分かれるとは限らない	5,375 (51.2)	3個	1,418 (13.5)
日本の現在の法律では、同性のカップルは結婚できない	5,253 (50.1)	4個	1,632 (15.6)
同性愛は、本人の意思で変えることはできない	5,058 (48.2)	5個	1,698 (16.2)
日本では、戸籍上の性別を変えることができる	4,613 (44.0)	6個	1,297 (12.4)
オリンピック大会には、ある条件を満たした場合のみ、性別を変更した選手が変更後の性別で出場することができる	2,521 (24.0)	7個	778 (7.4)
スポーツの大会では、女性選手にのみ、性別確認のための検査を行うことがある	2,091 (19.9)	8個	302 (2.9)
同性愛者の国際的なスポーツ大会がある	1,416 (13.5)	9個	255 (2.4)
この中に正しいと思うものはない	930 (8.9)	0個	930 (8.9)

表5 性的マイノリティの人との遭遇経験について

内容	n (%)	該当数	n (%)
性別がよくわからない人に会った	4,909 (46.8)	1 個	3,014 (28.7)
二人の男性や二人の女性が人前で手をつないでいるのを見た	4,573 (43.6)	2 個	2,522 (24.0)
同性の人に言い寄られた	1,182 (11.3)	3 個	828 (7.9)
自分の性別に悩んでいると打ち明けられた	971 (9.3)	4 個	259 (2.5)
前から知っている人に、昔は別の性別だったと打ち明けられた	388 (3.7)	5 個	89 (0.8)
あてはまるものはない	3,780 (36.0)	0 個	3,780 (36.0)

かを尋ねた結果、「ある」と回答した人が69.0%と7割近くとなった(図1)。日本労働組合総連合会の調査(2016)では、「LGBTという言葉を知っていたか」という問いに対して47.1%の人が「知っていた」と回答しており、その結果と比較すると調査年度が違うもののスポーツ指導者の認知率が高いことがうかがえる。

## 6. 現在と今後のLGBTに関する知識習得の必要性と学習行動

「LGBT」という言葉を聞いたことがあると回答した人(7,242人)に、「周りの人と比べてLGBTについてどれくらい知っていたか」「LGBTについて知る必要性」「LGBTについてどれくらい調べたり情報収集をしたりしたか」を尋ねた。その結果、周りの人と比較した場合、「周りの人と同じくらい」と回答した人が最も多く、59.9%と約6割となった(図2)。LGBTについて知る必要性については、「多少は感じた」が最も多く43.0%であり、「とても感じた」の20.4%と合わせると6割以上の人を知る必要性があると感じていることが明らかとなった(図3)。また、LGBTに対する学習行動について尋ねた結果、「あまりしてこなかった」が最も多く48.5%、「まったくしてこなかった」の21.8%と合わせると7割の人が学習行動にまで至っていないことが明らかとなった(図4)。すなわち、LGBTに対して知る必要性は感じているものの、実際に自ら調べたり情報収集したりするような行動にまでは至っていない人が多いことが明らかとなった。

また、今後の「LGBTについて知る必要性の程度」「LGBTについての学習行動の程度」を尋ねた。その結果、必要性については、「多少は感じ

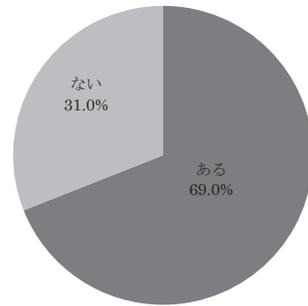


図1 「LGBT」という言葉を聞いたことがあるか (n=10,492)

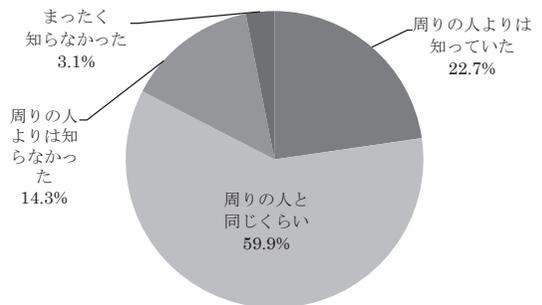


図2 LGBTについての認識 (n=7,242)

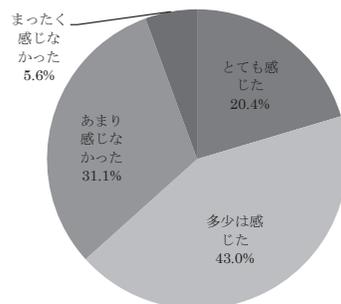


図3 LGBTについて知る必要性 (現在) (n=7,242)

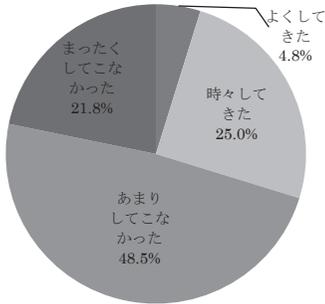


図4 LGBTに関する学習行動  
(現在) (n = 7,242)

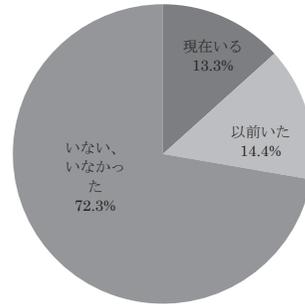


図7 LGBT当事者の認識 (n = 10,492)

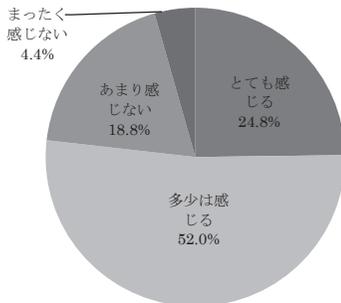


図5 LGBTについて知る必要性  
(今後) (n = 10,492)

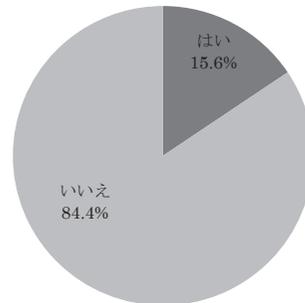


図8 LGBT当事者を指導したことがある  
(n = 2,914)

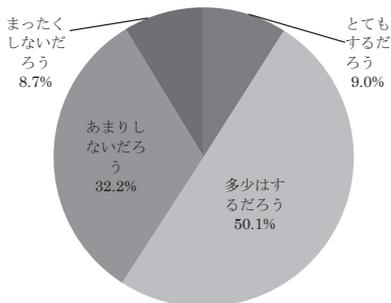


図6 LGBTに対する学習行動  
(今後) (n = 10,492)

## 7. LGBT当事者の認識

身の回りにLGBT当事者がいるか(いたか)を尋ねた。その結果、「いない・いなかった」と72.3%の人が回答した(図7)。博報堂が職場環境において実施した調査(2017)では、「周囲にLGBTに該当する人はいない」と回答した割合が88.5%であり、本調査より高い値となっている。すなわち、スポーツ指導者を取り巻く環境には、一般の職場環境よりLGBT当事者に出会う確率が高いことが推測された。

さらに、身の回りにLGBT当事者がいる(いた)と回答した人に、その人は自分が指導している(していた)人かを尋ねた結果、「はい」と回答した人は15.6%であった(図8)。この結果は、指導者自身がLGBT当事者が身の回りに「いる(いた)」と認識しているか否かに関わらず、スポーツ指導場面において、25人に1人の割合でLGBT当事者を指導する可能性があることを示唆している。

る」が最も多く52.0%、ついで「とても感じる」が24.8%となり、「感じる」と回答した人は76.8%となった(図5)。学習行動については、「多少はするだろう」が最も多く50.2%となり、ついで「あまりしないだろう」が32.2%となった(図6)。すなわち、LGBTに関して学ぶ必要性は感じるものの、実際に調べたり情報を集めたりする行動に移す人は少ないことがわかった。

表6 直面する課題 (n = 10,492)

内容	n (%)	該当数	n (%)
どちらの性別の更衣室やシャワーを使うか	4,178 (39.8)	1 個	915 (8.7)
遠征や合宿などの宿泊時に、どちらの性別の部屋に泊まるか	4,100 (39.1)	2 個	858 (8.2)
本人が希望する場合、LGBTであることをチームメイトなどどのように周知するか	3,287 (31.3)	3 個	1,018 (9.7)
競技会にエントリーする際にどちらの性別でエントリーするか	3,110 (29.6)	4 個	882 (8.4)
ある競技者がLGBTであることを告げたことによって、いじめや差別的言動といった人間関係上の様々な問題が生じた	2,694 (25.7)	5 個	773 (7.4)
LGBTの当事者がLGBTであることをチームメイトに告げるかで悩んでいる	2,616 (24.9)	6 個	691 (6.6)
男女で練習メニューを分ける際にどちらの性別のメニューをやらせるか	1,716 (16.4)	7 個	441 (4.2)
「さん」か「くん」か、呼び捨てにするかなどの呼称	1,530 (14.6)	8 個	286 (2.7)
ユニフォームやジャージなどの服装について本人のニーズと合わない	1,483 (14.1)	9 個	235 (2.2)
あてはまるものはない	4,393 (41.9)	0 個	4,393 (41.9)

## 8. LGBTに関する課題の認識と要望

スポーツ環境において考えられるLGBTに関する課題を9項目あげた。これら9項目に対して、自分自身が直面して困った課題、あるいは、直面したとしたら対応に困る課題について回答を得た。

その結果、最も多かった回答は、「あてはまるものがない」であり41.9%となった(表6)。すなわち、LGBTに対して理解がある人が多いか、あるいは、自分のこととして捉えられず消極的無関心になっている人が多いかのどちらかの人が多いことが推測された。一方、対応に困る課題としてあげられたものの中では、「どちらの性別の更衣室やシャワーを使うか」が39.8%、「遠征や合宿などの宿泊時に、どちらの性別の部屋に泊まるか」が39.1%と約4割となり、更衣や宿泊など性別によって区分される行動に対して困ると考える人が多いことが明らかとなった。9項目すべてに困ると回答した人は、全体の2.2%であった。

さらに、スポーツ指導におけるLGBTの課題に対する要望を尋ねた結果、「指導者講習会の講義

表7 LGBTの課題に対する要望 (n = 10,492)

内容	n (%)
情報がほしい	4,267 (40.7)
研修会を開いてほしい	1,728 (16.5)
指導者講習会の講義内容に含めてほしい	4,513 (43.0)
協会や連盟に具体的な対策をとってほしい	3,172 (30.2)
その他	846 (8.1)

内容に含めて欲しい」が最も多く43.0%、ついで「情報が欲しい」が40.7%となった(表7)。つまり、LGBTに関する情報を提供して欲しいと思っている人が多く、まずは、スポーツ団体などが情報を提供していくことの必要性が明らかとなった。

## 9. 性別役割の平等志向に対する考え方

性別役割の平等志向について、どのように考えているかをたずねた。表8はその結果である。\*の項目は反転項目となるため、非該当者が性別役割の平等志向に対して肯定的な考えを持つことに

表8 性別役割の平等志向に対する考え方 (n = 10,492)

内容		n (%)	該当数	n (%)
1	* 女性が社会的地位や賃金の高い職業を持つと結婚する のがむずかしくなるから、そういう職業は持たないほ うがよい	10,360 (98.7)	15	1,321 (12.6)
2	* 結婚生活の重要事項は夫が決めるべきである	10,361 (98.8)	14	2,113 (20.1)
3	* 主婦が働くとき夫をないがしろにしがちで、夫婦関係に ひびが入りやすい	10,178 (97.0)	13	2,187 (20.8)
4	* 女性の居るべき場所は家庭であり、男性の居るべき場 所は職場である	10,320 (98.4)	12	1,818 (17.3)
5	* 主婦が仕事を持つと、家事の負担が重くなるのでよく ない	10,199 (97.2)	11	1,751 (16.7)
6	結婚後、妻は必ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧 姓で通してもよい	5,337 (50.9)	10	609 (5.8)
7	家事は男女の共同作業となるべきである	7,319 (69.8)	9	314 (3.0)
8	* 子育ては女性にとって一番大切なキャリアである	8,738 (83.3)	8	180 (1.7)
9	* 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てることが非 常に大切である	8,301 (79.1)	7	99 (0.9)
10	* 娘は将来主婦に、息子は職業人になることを想定して 育てるべきである	10,274 (97.7)	6	47 (0.4)
11	* 女性は家事や育児をしなければならないから、フルタ イムで働くよりパートタイムで働いたほうがよい	10,044 (95.7)	5	24 (0.2)
12	女性の人生において、妻であり母であることも大事だ が、仕事をするのもそれと同じくらい重要である	5,853 (55.8)	4	19 (0.2)
13	女性は子どもが生まれても、仕事を続けたほうがよい	4,355 (41.5)	3	7 (0.1)
14	* 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい	8,897 (84.8)	2	2 (0.0)
15	* 女性は家事や育児をしなければならないから、あまり 責任の重い、競争の激しい仕事をしないほうがよい	9,922 (94.6)	1	1 (0.0)
16	あてはまるものはない	904 (8.6)	平均値 : 12.43 (±1.90)	

\*は反転項目であり非該当者が平等志向となる。そのため、\*項目のnは内容に対する非該当者の数である。  
該当数は、反転後の合計数である。

なる。\*項目のnは非該当者の数となっている。

15項目中、12項目において7割以上の人が性別  
役割に対して平等志向を持つことが明らかとなっ  
た。一方、「女性は子どもが生まれても、仕事を  
続けた方がよい」は41.5%、「結婚後は、妻は必  
ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧姓で通して  
もよい」は50.9%、「女性の人生において、妻で  
あり母であることも大事だが、仕事をするこ

それと同じくらい重要である」は55.8%と低い回  
答となった。

次に、平等志向の程度を明らかにするために、  
該当数の合計(\*項目は反転)を算出した。該当  
数が多いほど平等志向が高いことになる。その結  
果、15個の人は12.6%、14個の人は20.1%とな  
った。一方、該当数が10個以下の人たちは合計で約13%  
程度となった。

## 参考文献・資料

株式会社電通（2015）「LGBT調査2015」調査報告.  
株式会社LGBT総合研究所（2017）LGBTに関する意識行動調査結果～職場や学校など環境に関する意識行動実態～.  
釜野さおり・石田仁・風間孝・吉仲崇・河口和也（2016）「性的マイノリティについての意識－2015年全国調査報告書」科学研究費助成事業「日

本におけるクィア・スタディーズの構築」研究グループ（研究代表者 広島修道大学 河口和也）編.  
日高庸晴（2016）LGBT当事者の意識調査～いじめ問題と職場環境等の課題～.  
日本労働組合総連合会（2016）LGBTに関する職場の意識調査～日本初となる非該当者を中心に実施したLGBT関連の職場意識調査～.

## 7-2 クロス集計結果

高峰 修<sup>1)</sup>

本節では性的マイノリティに関する知識や認識、経験等に関連する項目と、諸属性（性別、年齢層、最終学歴、取得した指導者資格、指導の有無、指導した競技のレベル）とのクロス集計結果について検討していく。各表中、色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセルを、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味している。

### 1. 性的マイノリティに関する知識

表9には、性的マイノリティに関する知識のクロス集計結果を示した。性別に関しては、男性と比べて女性において各項目の正答者が多く、概して男性よりも女性のほうが性的マイノリティに関して正しい知識を有している傾向を確認できる。性別について「答えたくない」と回答した37名の正答率もやはり高い傾向にあり、正答率自体は女性のそれよりも高い値を示す。「わからない」と回答した18名の正答率も相対的に高く、4つの項目においては最高の正答率を示している。

年齢層に関しては概して若い年齢層の正答率が高く高齢層で低い傾向が、また最終学歴に関しては高等学校卒業者における正答者の割合が有意に少なく、大学卒業と大学院修了者の割合が多い傾向がそれぞれ確認された。

取得した指導者資格別の分析結果からは、指導員と上級指導員において、正答者の割合が期待されるよりも少ないことがわかる。指導員は地域スポーツクラブなどで子どもや初心者を対象にスポーツ指導を行う指導者であり、上級指導員では指導対象の年齢や競技レベルの幅が広がりはあるが、基本的には市町村や広域エリアといった居住地域を活動の拠点とする指導者である。そうした指導者たちに性的マイノリティの知識が行き届いていない傾向が確認された。

他方、商業スポーツ施設で指導を行う「教師」、あるいはアスレティックトレーナーやスポーツドクターが性的マイノリティに関して正しい知識を持つ傾向が強いことも確認できる。

過去一年間の指導の有無については、指導に関わった人たちの正答率が低い傾向がみられる。これまでに指導した競技のレベルに関しては、性的マイノリティに関する知識の正答者の割合は国際レベルの指導者で期待されるよりも高く、他方、市区町村レベルで低い傾向が確認された。

### 2. 性的マイノリティとの遭遇経験

次に、日常生活において性的マイノリティと遭遇する5つの経験の有無に関するクロス集計結果を表10に示した。まず性別については、遭遇経験があるという回答が期待よりも多かったのは一貫して女性であり、他方、男性は期待よりも少なかった。また「答えたくない」「わからない」と答えた人においても、遭遇経験が多い傾向がみられた。年代別では20歳代から30歳代の若い年齢層では、遭遇経験がある人の割合が期待されるよりも多く、反対に50歳代や60歳代の年齢層においては少ない。最終学歴については、専門学校卒業や大学卒業、大学院修了者は遭遇経験を持つ傾向が強く、反対に高校卒業者は遭遇経験を持たない傾向がみられる。

取得資格に関しては、地域をベースに指導活動を行う指導員と上級指導員において遭遇経験を持つ人が期待されるよりも少なく、他方、競技者育成を役割とするコーチや上級コーチ、商業スポーツ施設で指導を行う教師、さらにはスポーツプログラマーやフィットネストレーナー、アスレティックトレーナー、スポーツドクターにおいて遭遇経験を持つ人が多かった。地域スポーツクラブ等で幼・少年期の子どもたちに指導を行うジュニアスポーツ指導員においても、「性別に悩んでいる」あるいは「昔は別の性別だった」と打ち明

1) 明治大学

けられた経験をもつ傾向が強かったが、そうした経験がスポーツ指導の文脈のことであったか否かについてはわからない。

指導レベルについては国際レベルでは遭遇経験を持つ人が期待されるよりも多かったが、都道府県や市区町村レベルでは少なかった。

### 3. LGBTに関する認識

表11には「LGBTという言葉聞いたことがあるか」という質問のクロス集計結果を示した。性別では女性、年齢層では20・30歳代、最終学歴については大学卒業や大学院修了者において、聞いたことがある人の分布が有意に多かった。

指導者資格については指導員とアスレティックトレーナー、スポーツドクターにおいて聞いたことの有無によって分布が偏り、指導員では聞いたことが「ない」人が、アスレティックトレーナーとスポーツドクターでは「ある」人が多く分布していた。

指導の有無については、過去1年間に指導しなかった人、指導レベルでは市区町村レベルで指導している人において、それぞれLGBTという言葉聞いたことがない人が多く偏っていた。

続いて表12には、「LGBTという言葉聞いたことがある」と答えた人(7,242人)を対象にした、「まわりの人と比べてLGBTについてどれくらい知っていたか」という質問のクロス集計結果を示した。

性別に関しては、「周りの人よりは知っていた」と回答した人の割合は女性や「答えたくない」わからない」と回答した人において多く分布していた。他方、男性においては周りの人と「同じくらい」か「知らなかった」と回答した人が多かった。年齢層については、20・30歳代で「周りの人よりも知っていた」と答える一方で、60歳代や70歳以上で「周りの人より知っていた」と答える人の割合は有意に少なく、同時に「周りの人より知らなかった」と答える人が多い傾向がみられた。

最終学歴に関しては、高校卒業者では「周りの人より知らなかった」「まったく知らなかった」と答え、大学卒業、大学院修了者では「周りの人より知っていた」と答える傾向を確認できる。

「周りの人より知っていた」と答えた人の割合を指導者資格別にみると、上級指導者では有意に少なく、教師やスポーツプログラマー、スポーツドクターでは多く偏っていた。

また「周りの人よりも知っていた」人の割合は、指導の有無に関しては過去1年に指導をしなかった人において、指導レベルでは国際レベルにおいて多く偏っていた。

### 4. 現在のLGBTに関する知識習得の必要性和学習行動

「LGBTという言葉聞いたことがある」と答えた人を対象にした、「LGBTについて知る必要性を感じたか」という質問のクロス集計結果を表13に示した。性別では女性と「答えたくない」「わからない」と答えた人において「必要性をととも感じた」と回答する割合が有意に多かった。他方、男性では「あまり」「まったく」感じなかったという回答が多かった。

年齢層に関しては、20・30歳代の年齢層で「必要性をととも感じた」人の割合が、また60歳代・70歳以上の年齢層で「あまり」「まったく」感じなかった人の割合がそれぞれ多いという対角線状の分布を確認できる。こうした傾向は最終学歴においてもあてはまり、大学卒業、大学院修了者ではLGBTについて知る必要性を「とても」「多少は」感じた人の割合が多いが、高校卒業者では「あまり」「まったく」感じなかった人が多かった。

取得した指導者資格別にみると、コーチや上級コーチ、アスレティックトレーナーでは知る必要性を「とても感じた」人が多く、指導員や上級指導員では「あまり感じなかった」人が多かった。指導レベルについては、国際レベルの競技者を指導する人に「とても感じた」人の割合が、他方、都道府県や市区町村レベルの指導者では「あまり」「まったく」感じなかった人が多かった。

続いて表14には、LGBTに関するこれまでの情報収集に関するクロス集計結果を示した。LGBTについての情報収集を「よく」「時々」してきた人の割合は、性別では女性や「答えたくない」「わからない」と答えた人において、20・30歳代の年齢層において、また大学卒業や大学院修了の最終

学歴をもつ者において、国際レベルの競技者を指導する人において、それぞれ有意に多く偏っていた。

## 5. 今後のLGBTに関する知識習得の必要性和学習行動

以上の「LGBTについて知る必要性」と「情報収集」に関する今後の予測を質問した。これら設問には分析対象の全員が回答している。

表15には「今後、LGBTについて知る必要性」に対する回答のクロス集計結果を示した。回答の偏りの全体的な傾向は、概して表13と共通している。性別に関しては、女性と「わからない」と回答した人において今後の必要性を「とても感じる」と回答した人、そして男性において「あまり」「まったく」感じないと回答した人の割合がそれぞれ多い。ただし、男性の52.8%が必要性を「多少は感じる」と回答したことは表13とは異なる点である。年齢層に関しては、20・30歳代の年齢層で「必要性をとても感じる」人の割合が、また60歳代・70歳以上の年齢層で「あまり」「まったく」感じない人の割合がそれぞれ多く、表13と同じ傾向を確認できる。

最終学歴については、大学卒業、大学院修了者では知る必要性を「とても」感じる人が、高校卒業者では「あまり」「まったく」感じない人がそれぞれ多い傾向は表13と共通している。他方、短大・高等専門学校卒業者の56.1%はLGBTについて知る必要性を「多少は感じる」と回答しており、表13と比べると10ポイント以上多い。

指導の有無に関しては表13では有意な偏りが認められなかったが、表15では過去1年間に指導をした人において「多少は感じる」と回答した人の割合が多く偏っている。指導レベルでは、国際レベルの競技者を指導する人に「とても感じた」人の割合が、他方、都道府県や市区町村レベルの指導者では「あまり」「まったく」感じなかった人が多く、この傾向も表13と共通したものである。

取得した指導者資格については、表13でLGBTについて知る必要性を「とても」感じた人と回答した割合が有意に多かったのはコーチと上級コーチ、教師、アスレティックトレーナーの4資格で

あったが、将来的な予測を質問した表15では7資格に増えている。つまりLGBTについて知る必要性を強く感じる指導者が、資格別にみた場合にも増えている傾向を確認できる。しかし、地域を指導活動の拠点とする指導員や上級指導員では依然として、LGBTについて知る必要性を「あまり感じない」あるいは「まったく感じない」と回答する割合が有意に多かった。

「今後のLGBTに関する情報収集」についてのクロス集計結果を表16に示した。表16にみられる全体的な傾向も、概して表14と共通している。LGBTについての情報収集を今後「とても」「多少は」するだろうと回答した人の割合は、性別では女性や「答えたくない」「わからない」と答えた人において、20・30歳代の年齢層において、また大学卒業や大学院修了の最終学歴をもつ者において、国際レベルの競技者を指導する人において、それぞれ有意に多く偏っていた。

取得した指導者資格については、表14でLGBTの情報収集を「よく」「時々」してきたと回答した割合が有意に多かったのはコーチと教師、スポーツプログラマー、アスレティックトレーナーの4資格であったが、こうした傾向は将来的な見込みを質問した表16では上級コーチやジュニアスポーツ指導者、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アシスタントマネジャーといった資格にも広がっている。やはりLGBTについて情報を収集しようとする指導者が、多くの資格において増えている傾向を確認できる。しかしながら、活動のベースを地域におく指導員や上級指導員では、LGBTについての情報収集の見込みに関しても「あまりしないだろう」あるいは「まったくしないだろう」と回答する割合が有意に多かった。

## 6. LGBT当事者の存在認識

表17には、身の回りにLGBT当事者がいるか(いたか)についての認識のクロス集計結果を示した。「現在いる」「以前いた」を合わせて、LGBTの存在を認識している人の割合は、性別では女性や「答えたくない」「わからない」と回答した人、20・30・40歳代、大学卒業および大学院修了者、過去1年間に指導しなかった人、国際レベルや全

国レベルの競技者を指導する人において多く偏っていた。

同じく指導者資格に関しては、コーチや上級コーチ、教師、スポーツプログラマー、ジュニアスポーツ指導者、アスレティックトレーナー、スポーツドクターにおいて多かった。そしてやはり、地域を活動の拠点とする指導員や上級指導員では、LGBTの存在を認識していないと回答する人の割合が有意に多かった。

## 7. LGBTに関する課題の認識

スポーツ指導の場において想定されるLGBTの人々に関する課題を9項目あげ、そのクロス集計結果を表18に示した。性別において女性は9項目中8項目について、それを課題だと回答する人の割合が有意に多い結果となったが、対照的に男性は、それらを課題だと認識する人の割合が少なかった。性別を「わからない」と回答した人たちが課題として認識する割合が多かったのは9項目3項目、「答えたくない」の人たちでは1項目にとどまった。

年齢層に関しては20・30・40歳代で、9項目中5～6項目において課題だと認識する割合が多かった。また「練習メニュー」や「競技会のエントリー」に関して課題と捉える人の割合については、年齢層によって偏りは認められなかった。

最終学歴については大学卒業および大学院修了者において、9項目中3～4項目を課題として認識する傾向がみられるが、他方、高校卒業者では課題と認識しない人の割合が多い傾向がみられた。

指導の有無に関しては指導経験を持つ人において、また指導レベルについては市区町村レベルで指導をする指導者において、各項目を課題と認識しない傾向がみられる。

取得した指導者資格については、コーチで5項目、教師で4項目、スポーツドクターで3項目、アスレティックトレーナーで2項目において、各項目を課題として認識する傾向がみられた。項目別にみると「LGBTであることをチームメイトに告げるか悩んでいる」「『くん』『さん』呼び捨てなどの呼称」「ユニフォームなど服装などのニー

ズ」を指導上の課題と認識する傾向が強かった。

## 8. LGBTに関する課題に対する要望

続いて、こうしたLGBTの人々に関する課題に対する要望4項目のクロス集計結果を表19に示した。性別に関しては、女性と「わからない」と答えた人において「情報がほしい」「研修会を開いてほしい」という要望をもつ人の割合が有意に多く、反対に男性においては少ない傾向が見られた。性別を「わからない」と答えた人たちは、「協会や連盟に具体的な対策をとってほしい」という要望も多くもつ傾向にある。

年齢層については、20～40歳代の年齢層において、「情報がほしい」「研修会を開いてほしい」「指導者講習会の内容に含めてほしい」の3項目を要望とする人の割合が多く、反対に50歳以上の年齢層では少ない傾向がみられた。最終学歴については大学卒業及び大学院修了者は「情報がほしい」「研修会を開いてほしい」という要望を強くもつ傾向にあり、反対に高校卒業者はこれらの要望をもつ人の割合が少ない。他方、「協会や連盟に具体的な対策をとってほしい」という要望をもつ人の割合は高校卒業者や専門学校卒業者に多いが、この要望はLGBTに関する対応を協会や連盟に一任するものであり、自らが何かを学ぼうとするものではない。

指導の有無に関しては、過去1年間に指導をしなかった人たちが「研修会を開いてほしい」や「協会や連盟に具体的な対策をとってほしい」という要望をもつ傾向がある。また国際レベルで指導する指導者が「情報がほしい」「研修会を開いてほしい」という要望を強くもつ傾向がみられた。

取得した指導者資格別にみると、「研修会を開いてほしい」という要望は、教師やスポーツプログラマー、ジュニアスポーツ指導員、アスレティックトレーナー、スポーツドクター、クラブマネージャー、スポーツトレーナーなど多くの指導者資格における共通の要望であることがわかる。その他、「情報がほしい」はコーチや教師、スポーツプログラマー、アスレティックトレーナーが要望としてあげる傾向がみられた。比較的多くの指導者資格で希望する人の割合が多かった「情報がほ

しい」「研修会を開いてほしい」という要望であるが、地域を活動の拠点とする指導員と上級指導員ではそれらを希望する人の割合は有意に低かった。ただし、上級指導員は「指導者講習会の内容に含めてほしい」を要望とする人の割合が多かった。

## 9. 性別役割の平等志向に対する考え方

「性別役割の平等志向に対する考え方」として15項目をあげ、各自の考えに合致するものを選んでもらった。表20にはそのクロス集計結果を示した。なお、各設問の頭に★印がついている項目は反転項目であり、表20にはそれぞれの項目について平等志向な考え方をもつ人の割合を示した。

性別についてみると、女性は15項目中7項目において該当すると答えた人の割合が有意に多く、男性は少なかった。こうした傾向から、女性は男性よりも平等志向が強いと言えよう。年齢層については、20歳代は3項目、30・40歳代は4項目で該当すると答えた人の割合が多かったが、一方では20歳代は3項目、30歳代5項目、40歳代4項目で有意に少なかった。60歳代や70歳以上の高齢層でも、該当者の割合が有意に多い項目もあれば少ない項目もあり、年齢層全体として平等志向に一貫した傾向はみられない。

最終学歴については、中学校や高校卒業者においては該当する割合が有意に少ない項目が多く、他方大学卒業や大学院修了者では有意に多い項目が目立つ。全体としては高学歴であるほど平等志向をもつと言えそうである。

指導レベルに関しては、市区町村レベルで指導をする人たちにおいて、各項目に該当すると答えた人の割合が有意に少ない項目が4項目あり、平等志向が弱い傾向がみられる。

取得した指導者資格については、教師やアスレティックトレーナー、アシスタントマネジャーにおいて平等志向が強いものの、指導員と上級指導員では平等志向は弱い傾向がみられる。

## 10. ま と め

以上、項目ごとにクロス集計結果をみてきたが、性別や年齢層、最終学歴などの属性にはおよそ一

貫した分布の傾向がみられる。最後に各属性がもつ傾向をまとめることにする。

### (1) 性別

女性は男性よりも性別役割の平等志向が強く、LGBTに関しては知識を持ち、またLGBTについて知る必要性を認識し、情報収集に努め、そして身の回りにLGBTの人がいることを認識している。男性は女性の反対の傾向を示す。つまり女性は男性よりも、LGBTについての知識をもち、理解をしており、今後も学ぼうという意思のある“LGBTフレンドリー”であるということができる。

### (2) 年齢層

概して20・30歳代といった若い年齢層のほうが、女性と同じようにLGBTフレンドリーな傾向を示す。他方、50歳以上の年齢層においてはLGBTという言葉を知ったことがある人も、今後LGBTについて知ったり、そのための情報収集をしようという人も少ない傾向にある。

### (3) 最終学歴

大学卒業及び大学院修了者はLGBTに関する知識を持ち、情報収集する意思を持ち、周りのLGBTの存在を認識しているが、高校卒業者は逆の傾向を示す。

### (4) 指導者資格

概して教師とアスレティックトレーナーがLGBTフレンドリーな傾向を示すが、地域を拠点として指導を行う指導員や上級指導員はLGBTの問題について知ろうとしたり情報を集めようという意識は弱い。

### (5) 指導レベル

国際レベルで指導を行っている指導者は、性的マイノリティの人たちと遭遇した経験をもち、LGBTについて知る必要性を強く感じ、情報収集をしようという意思を持つ。他方、市区町村レベルの指導者には性的マイノリティは知られておらず、今後も情報収集をしようという意識は弱かった。

表9 「性的マイノリティに関する知識」のクロス集計結果

横%		同性の人に愛情を感じる人がいる	身体の性別は、女性または男性のどちらかに明確に分かれるとは限らない	自分の身体的な性別とは異なる性別で生まれることがある	同性愛は、本人の意思で変えることはできない	日本では、戸籍上の性別を変えることができる	日本の現在の法律では、同性のカップルは結婚できない	オリンピック大会には、ある条件を満たした場合のみ、性別を変更した選手が変更後の性別で出場することができる	同性愛者の国際的なスポーツ大会がある	スポーツの大会では、女性選手にのみ、性別確認のための検査を行うことがある
全体	10,492	60.7	51.2	75.0	48.2	44.0	50.1	24.0	13.5	19.9
性別		***	***	***	***	***	**	n.s.	*	***
女性	2,120	69.1	59.2	83.1	59.3	56.8	52.6	25.4	12.0	15.7
男性	8,317	58.4	49.0	72.9	45.3	40.5	49.3	23.6	13.8	20.9
答えたくない	37	83.8	75.7	81.1	62.2	67.6	62.2	32.4	27.0	37.8
わからない	18	77.8	66.7	77.8	66.7	72.2	66.7	38.9	16.7	16.7
年齢層		***	***	***	***	***	***	**	***	***
20代	698	72.2	56.0	81.2	55.3	62.9	58.5	25.6	16.9	12.6
30代	1,407	67.2	54.1	80.2	57.6	54.2	56.8	26.4	15.6	16.8
40代	2,756	62.0	51.9	77.7	53.7	45.8	51.5	24.0	14.1	19.3
50代	3,166	60.0	52.8	76.0	48.5	42.9	49.0	24.5	14.1	20.8
60代	1,945	55.4	47.3	69.5	37.1	34.9	43.9	22.5	11.2	23.9
70代以上	520	44.4	38.8	53.5	23.5	21.7	42.7	18.1	5.2	21.0
最終学歴		***	***	***	***	***	***	***	***	***
中学校卒業	65	56.9	46.2	56.9	36.9	47.7	50.8	15.4	10.8	18.5
高等学校卒業	2,631	51.5	44.4	65.9	38.1	38.2	44.4	18.5	9.8	16.0
短大、高等専門学校卒業	617	60.9	54.5	72.6	46.0	46.0	45.4	20.9	11.2	15.1
専門学校卒業	859	56.6	50.4	73.6	46.6	46.4	49.9	22.0	12.1	12.8
大学卒業	5,387	63.4	52.6	78.2	51.2	44.8	51.8	25.8	14.3	21.6
大学院修了	864	75.9	61.9	87.4	64.1	51.0	59.5	34.4	22.8	31.8
その他	69	60.9	58.0	76.8	53.6	56.5	59.4	30.4	15.9	27.5
指導者資格										
指導員	5,867	58.8	50.4	74.0	46.6	43.9	49.7	22.9	12.4	18.5
		***	n.s.	**	***	n.s.	n.s.	**	***	***
上級指導員	993	55.6	49.3	70.9	44.3	39.8	47.7	23.3	12.4	20.3
		**	n.s.	**	*	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
コーチ	1,570	63.4	50.2	76.8	50.1	42.7	49.7	24.1	13.4	20.1
		*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
上級コーチ	453	61.4	55.6	75.3	50.6	40.2	45.0	26.9	15.5	28.0
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	***
教師	724	63.5	52.8	79.3	56.2	48.5	51.2	20.6	12.7	18.9
		n.s.	n.s.	**	***	*	n.s.	*	n.s.	n.s.
上級教師	95	56.8	50.5	73.7	48.4	37.9	55.8	28.4	14.7	31.6
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	**
スポーツプログラマー	327	63.0	49.5	75.2	48.3	51.1	48.6	21.4	13.8	19.9
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
フィットネストラナー	50	68.0	54.0	74.0	52.0	48.0	46.0	18.0	16.0	18.0
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
ジュニアスポーツ指導員	798	58.6	50.5	74.7	45.4	46.4	49.2	24.9	14.9	21.8
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
アスレティックトレーナー	409	66.5	55.0	80.9	58.9	55.3	57.9	27.4	17.6	21.3
		*	n.s.	**	***	***	**	n.s.	*	n.s.
スポーツドクター	352	73.0	64.8	86.9	59.1	45.7	56.8	39.2	26.4	36.9
		***	***	***	***	n.s.	*	***	***	***
スポーツデンティスト	37	56.8	54.1	73.0	54.1	43.2	54.1	27.0	10.8	24.3
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
アシスタントマネジャー	525	62.3	48.8	73.7	43.8	43.8	49.0	25.3	15.4	19.2
		n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
クラブマネジャー	93	58.1	53.8	72.0	39.8	44.1	51.6	23.7	18.3	16.1
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
(旧資格) スポーツトレーナー	23	43.5	47.8	47.8	39.1	34.8	34.8	26.1	21.7	8.7
		n.s.	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
その他	296	61.5	57.1	76.7	49.3	49.7	48.6	25.7	14.2	19.6
		n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
指導の有無		*	n.s.	*	*	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
指導しなかった	1,694	63.3	52.4	77.3	50.9	47.7	52.1	23.4	13.0	21.5
指導した	8,798	60.2	51.0	74.6	47.7	43.2	49.7	24.1	13.6	19.6
指導レベル		***	***	***	***	*	n.s.	**	n.s.	***
国際レベル	815	64.4	56.8	81.7	53.6	45.5	51.8	28.0	15.0	26.7
全国レベル	3,695	61.0	50.5	76.1	48.9	43.1	49.9	23.8	14.5	20.7
地域レベル	1,063	61.1	52.4	75.1	47.9	46.3	50.9	24.5	12.4	17.3
都道府県レベル	2,049	60.7	51.8	73.6	46.9	44.3	50.4	23.9	12.5	19.1
市区町村レベル	1,369	53.9	44.8	67.1	42.4	40.5	47.0	20.7	11.8	17.2
その他	1,501	64.0	54.3	77.8	50.9	46.4	51.2	25.4	13.9	19.8

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表10 「性的マイノリティの人々との遭遇経験」に関するクロス集計結果

		横%	同性の人に言い寄られた	二人の男性や二人の女性が人前で手をつないでいるのを見た	性別がよくわからない人に出会った	自分の性別に悩んでいると打ち明けられた	前から知っている人に、昔は別の性別だったと打ち明けられた
全体		10,492	11.3	43.6	46.8	9.3	3.7
性別			***	***	***	***	***
	女性	2,120	18.3	51.5	54.5	18.5	7.7
	男性	8,317	9.2	41.5	44.7	6.6	2.5
	答えたくない	37	45.9	51.4	59.5	37.8	21.6
	わからない	18	55.6	66.7	66.7	66.7	50.0
年齢層			***	***	***	***	***
	20代	698	19.6	62.5	55.9	22.6	10.0
	30代	1,407	17.1	58.1	54.7	15.6	6.6
	40代	2,756	11.9	47.2	47.2	9.7	3.7
	50代	3,166	10.3	41.6	48.8	7.5	2.7
	60代	1,945	6.8	30.2	39.1	3.7	1.6
	70代以上	520	3.5	22.1	27.3	2.9	1.3
最終学歴			***	***	***	***	***
	中学校卒業	65	15.4	36.9	43.1	7.7	1.5
	高等学校卒業	2,631	7.6	32.5	39.3	4.7	2.0
	短大、高等専門学校卒業	617	11.0	39.2	45.5	7.1	3.1
	専門学校卒	859	10.8	50.2	48.1	10.2	6.4
	大学卒業	5,387	12.4	46.9	48.6	10.6	3.8
	大学院修了	864	14.9	53.6	57.2	15.2	5.7
	その他	69	20.3	46.4	58.0	11.6	7.2
指導者資格							
	指導員	5,867	10.4	40.0	44.6	8.1	3.1
			**	***	***	***	***
	上級指導員	993	8.3	38.0	41.4	5.7	2.8
			**	***	***	***	n.s
	コーチ	1,570	13.9	49.7	50.1	11.7	3.9
			***	***	**	***	n.s
	上級コーチ	453	11.0	49.4	49.2	11.3	3.1
			n.s.	*	n.s.	n.s	n.s
	教師	724	17.4	53.2	51.4	17.1	6.1
			***	***	*	***	**
	上級教師	95	11.6	48.4	51.6	12.6	4.2
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s	n.s
	スポーツプログラマー	327	15.0	51.7	54.1	13.1	8.3
			*	**	**	*	***
	フィットネストレーナー	50	20.0	64.0	64.0	14.0	14.0
			n.s.	**	*	n.s	**
	ジュニアスポーツ指導員	798	12.4	42.0	45.0	11.7	5.1
			n.s.	n.s.	n.s.	*	*
	アスレティックトレーナー	409	15.4	67.5	62.1	20.3	9.0
			**	***	***	***	***
	スポーツドクター	352	16.8	57.7	62.8	15.1	5.4
			**	***	***	***	n.s
	スポーツデンティスト	37	13.5	59.5	51.4	8.1	10.8
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s	*
	アシスタントマネジャー	525	10.7	38.3	46.5	7.6	4.0
			n.s.	*	n.s.	n.s	n.s
	クラブマネジャー	93	14.0	45.2	48.4	6.5	5.4
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s	n.s
	(旧資格)スポーツトレーナー	23	13.0	43.5	30.4	17.4	17.4
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s	**
	その他	296	17.9	51.0	50.3	11.5	7.4
			***	*	n.s.	n.s	**
指導の有無			n.s.	n.s.	**	n.s	*
	指導しなかった	1,694	12.2	45.3	50.6	10.1	4.7
	指導した	8,798	11.1	43.3	46.1	9.1	3.5
指導レベル			***	***	***	***	*
	国際レベル	815	16.3	59.8	56.7	14.7	5.0
	全国レベル	3,695	11.8	44.6	47.8	10.4	3.8
	地域レベル	1,063	10.3	42.2	48.4	8.9	4.9
	都道府県レベル	2,049	10.0	40.6	44.6	8.1	2.9
	市区町村レベル	1,369	9.1	35.4	39.5	5.3	2.8
	その他	1,501	11.5	44.9	47.4	8.8	3.9

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表11 「LGBTという言葉聞いた経験」のクロス集計結果

		横%	ある	ない
全体		10,492	69.0	31.0
性別			***	
	女性	2,120	74.7	25.3
	男性	8,317	67.5	32.5
	答えたくない	37	81.1	18.9
	わからない	18	83.3	16.7
年齢層			***	
	20代	698	78.1	21.9
	30代	1,407	74.6	25.4
	40代	2,756	68.8	31.2
	50代	3,166	67.9	32.1
	60代	1,945	66.3	33.7
	70代以上	520	59.6	40.4
最終学歴			***	
	中学校卒業	65	50.8	49.2
	高等学校卒業	2,631	57.8	42.2
	短大, 高等専門学校卒業	617	66.5	33.5
	専門学校卒	859	63.4	36.6
	大学卒業	5,387	73.6	26.4
	大学院修了	864	83.3	16.7
	その他	69	68.1	31.9
指導者資格			***	
	指導員	5,867	67.6	32.4
	上級指導員	993	66.5	33.5
	コーチ	1,570	70.9	29.1
	上級コーチ	453	69.8	30.2
	教師	724	72.2	27.8
	上級教師	95	72.6	27.4
	スポーツプログラマー	327	72.2	27.8
	フィットネストレーナー	50	68.0	32.0
	ジュニアスポーツ指導員	798	69.0	31.0
	アスレティックトレーナー	409	73.8	26.2
	スポーツドクター	352	81.8	18.2
	スポーツデンティスト	37	67.6	32.4
	アシスタントマネジャー	525	68.6	31.4
	クラブマネジャー	93	71.0	29.0
	(旧資格) スポーツトレーナー	23	69.6	30.4
	その他	296	67.2	32.8
指導の有無			***	
	指導しなかった	1,694	73.5	26.5
	指導した	8,798	68.2	31.8
指導レベル			***	
	国際レベル	815	71.8	28.2
	全国レベル	3,695	68.4	31.6
	地域レベル	1,063	71.0	29.0
	都道府県レベル	2,049	67.8	32.2
	市区町村レベル	1,369	64.3	35.7
	その他	1,501	73.8	26.2

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表12 「LGBTについての認識レベル」のクロス集計結果

	横%	周りの人よりは 知っていた	周りの人と同 くらい	周りの人よりは 知らなかった	まったく知ら なかった
全体	7,242	22.7	59.9	14.3	3.1
性別		***			
女性	1,583	28.7	58.6	10.7	2.0
男性	5,614	20.6	60.6	15.4	3.4
答えたくない	30	60.0	36.7	0.0	3.3
わからない	15	73.3	20.0	6.7	0.0
年齢層		***			
20代	545	35.2	52.5	9.2	3.1
30代	1,050	26.1	58.5	11.2	4.2
40代	1,897	24.0	60.1	12.9	2.9
50代	2,150	21.3	62.5	14.0	2.2
60代	1,290	16.5	60.9	18.8	3.8
70代以上	310	15.5	55.2	25.2	4.2
最終学歴		***			
中学校卒業	33	15.2	57.6	21.2	6.1
高等学校卒業	1,520	16.1	60.0	19.1	4.8
短大、高等専門学校卒業	410	19.5	63.9	14.4	2.2
専門学校卒	545	22.9	56.3	17.4	3.3
大学卒業	3,967	24.0	60.2	13.1	2.7
大学院修了	720	29.7	60.1	8.3	1.8
その他	47	42.6	42.6	10.6	4.3
指導者資格		***			
指導員	3,966	22.2	59.7	14.9	3.3
上級指導員	660	17.4	62.3	17.3	3.0
コーチ	1,113	23.6	59.6	12.7	4.1
上級コーチ	316	26.3	60.1	11.7	1.9
教師	523	30.0	55.8	11.9	2.3
上級教師	69	14.5	66.7	17.4	1.4
スポーツプログラマー	236	28.0	51.7	18.6	1.7
フィットネストレーナー	34	38.2	50.0	8.8	2.9
ジュニアスポーツ指導員	551	24.1	57.0	14.2	4.7
アスレティックトレーナー	302	27.5	57.0	12.9	2.6
スポーツドクター	288	28.8	64.2	6.9	0.0
スポーツデンティスト	25	24.0	64.0	4.0	8.0
アシスタントマネジャー	360	20.8	58.1	18.6	2.5
クラブマネジャー	66	30.3	50.0	15.2	4.5
(旧資格) スポーツトレーナー	16	25.0	68.8	6.3	0.0
その他	199	26.1	58.3	15.1	0.5
指導の有無		*			
指導しなかった	1,245	25.3	59.1	12.2	3.4
指導した	5,997	22.1	60.1	14.7	3.1
指導レベル		***			
国際レベル	585	27.7	58.3	11.6	2.4
全国レベル	2,526	23.7	59.9	14.3	2.1
地域レベル	755	21.6	61.2	13.1	4.1
都道府県レベル	1,389	21.0	60.5	15.7	2.8
市区町村レベル	880	17.7	60.3	16.1	5.8
その他	1,107	24.5	59.1	13.2	3.3

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル，色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表13 「LGBTについて知る必要性」のクロス集計結果

		横%	とても感じた	多少は感じた	あまり感じなかった	まったく感じなかった
全体		7,242	20.4	43.0	31.1	5.6
性別			***			
	女性	1,583	30.4	43.8	22.0	3.8
	男性	5,614	17.3	42.8	33.8	6.1
	答えたくない わからない	30	40.0	36.7	20.0	3.3
	わからぬ	15	66.7	20.0	13.3	0.0
年齢層			***			
	20代	545	40.4	42.9	14.7	2.0
	30代	1,050	27.3	48.2	20.8	3.7
	40代	1,897	21.3	44.6	29.6	4.4
	50代	2,150	18.0	43.6	32.8	5.5
	60代	1,290	12.4	37.8	41.5	8.3
	70代以上	310	5.5	31.9	48.7	13.9
最終学歴			***			
	中学校卒業	33	9.1	36.4	42.4	12.1
	高等学校卒業	1,520	13.2	38.8	39.7	8.4
	短大、高等専門学校卒業	410	16.6	42.2	35.4	5.9
	専門学校卒	545	20.0	44.6	30.6	4.8
	大学卒業	3,967	22.5	43.7	28.9	4.9
	大学院修了 その他	720	26.5	48.2	21.8	3.5
	47	23.4	34.0	38.3	4.3	
指導者資格			***			
	指導員	3,966	19.3	42.6	32.2	6.0
			**			
	上級指導員	660	13.5	42.7	37.4	6.4
			***			
	コーチ	1,113	24.0	42.5	29.4	4.1
			**			
	上級コーチ	316	26.9	42.4	25.3	5.4
			*			
	教師	523	34.8	42.8	19.9	2.5
			***			
	上級教師	69	15.9	34.8	42.0	7.2
			n.s.			
	スポーツプログラマー	236	25.0	43.2	26.3	5.5
			n.s.			
	フィットネストレーナー	34	32.4	32.4	32.4	2.9
			n.s.			
	ジュニアスポーツ指導員	551	24.3	40.1	31.2	4.4
			n.s.			
	アスレティックトレーナー	302	29.5	47.4	19.5	3.6
		***				
スポーツドクター	288	18.8	49.0	27.1	5.2	
		n.s.				
スポーツデンティスト	25	32.0	32.0	24.0	12.0	
		n.s.				
アシスタントマネジャー	360	18.3	44.7	30.0	6.9	
		n.s.				
クラブマネジャー	66	12.1	50.0	31.8	6.1	
		n.s.				
(旧資格) スポーツトレーナー	16	18.8	43.8	31.3	6.3	
		n.s.				
その他	199	21.6	45.7	30.2	2.5	
		n.s.				
指導の有無			n.s.			
	指導しなかった	1,245	22.7	43.1	28.7	5.5
指導した	5,997	19.9	43.0	31.6	5.6	
指導レベル			***			
	国際レベル	585	27.0	43.4	24.6	5.0
	全国レベル	2,526	21.5	42.9	30.8	4.9
	地域レベル	755	19.2	45.4	31.1	4.2
	都道府県レベル	1,389	18.0	42.4	34.4	5.2
	市区町村レベル	880	16.5	42.8	32.5	8.2
その他	1,107	21.2	42.1	30.0	6.7	

※1：\*：p&lt;0.05；\*\*：p&lt;0.01；\*\*\*：p&lt;0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表14 「LGBTに関する情報収集」のクロス集計結果

		横%	よくしてきた	時々してきた	あまりしてこ なかった	まったくして こなかった
全体		7,242	4.8	25.0	48.5	21.8
性別			***			
	女性	1,583	7.5	34.0	42.0	16.5
	男性	5,614	3.7	22.5	50.5	23.4
	答えたくない わからない	30	40.0	26.7	26.7	6.7
	わからぬ	15	66.7	6.7	20.0	6.7
年齢層			***			
	20代	545	12.8	33.6	38.3	15.2
	30代	1,050	7.7	29.7	46.9	15.7
	40代	1,897	3.8	28.9	48.6	18.7
	50代	2,150	4.0	24.7	50.1	21.2
	60代	1,290	2.4	16.0	52.0	29.6
	70代以上	310	1.9	8.7	45.5	43.9
最終学歴			***			
	中学校卒業	33	3.0	12.1	57.6	27.3
	高等学校卒業	1,520	2.3	16.4	49.0	32.2
	短大、高等専門学校卒業	410	3.4	22.0	51.2	23.4
	専門学校卒	545	6.2	22.6	46.6	24.6
	大学卒業	3,967	5.2	27.3	48.7	18.8
	大学院修了 その他	720	7.8	33.3	46.0	12.9
	47	2.1	38.3	44.7	14.9	
指導者資格						
指導員		3,966	4.5	24.1	49.3	22.1
				n.s.		
上級指導員		660	3.2	21.5	48.8	26.5
				**		
コーチ		1,113	5.1	28.9	46.2	19.8
				**		
上級コーチ		316	6.6	27.2	48.1	18.0
				n.s.		
教師		523	9.0	34.2	42.3	14.5
				***		
上級教師		69	7.2	13.0	58.0	21.7
				n.s.		
スポーツプログラマー		236	8.5	27.5	43.2	20.8
				*		
フィットネストレーナー		34	11.8	23.5	35.3	29.4
				n.s.		
ジュニアスポーツ指導員		551	6.0	25.8	45.2	23.0
				n.s.		
アスレティックトレーナー		302	6.0	31.1	46.7	16.2
				*		
スポーツドクター		288	6.3	28.1	48.6	17.0
				n.s.		
スポーツデンティスト		25	4.0	24.0	56.0	16.0
				n.s.		
アシスタントマネジャー		360	4.2	21.4	50.8	23.6
				n.s.		
クラブマネジャー		66	1.5	31.8	42.4	24.2
				n.s.		
(旧資格) スポーツトレーナー		16	6.3	25.0	56.3	12.5
				n.s.		
その他		199	7.5	27.1	45.2	20.1
				n.s.		
指導の有無						
			n.s.			
指導しなかった		1,245	5.7	24.4	48.0	21.8
指導した		5,997	4.6	25.1	48.6	21.7
指導レベル						
			***			
国際レベル		585	6.0	31.5	47.7	14.9
全国レベル		2,526	5.1	25.7	48.3	20.9
地域レベル		755	4.5	27.3	48.3	19.9
都道府県レベル		1,389	4.1	23.2	50.4	22.3
市区町村レベル		880	3.4	20.0	49.2	27.4
その他		1,107	5.4	24.4	46.6	23.6

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表15 「今後、LGBTについて知る必要性」のクロス集計結果

		横%	とても感じる	多少は感じる	あまり感じない	まったく感じない
全体		10,492	24.8	52.0	18.8	4.4
性別			***			
	女性	2,120	35.5	49.6	12.9	2.1
	男性	8,317	21.9	52.8	20.3	5.0
	答えたくない わからない	37 18	35.1 72.2	45.9 22.2	8.1 5.6	10.8 0.0
年齢層			***			
	20代	698	47.6	44.1	7.3	1.0
	30代	1,407	35.5	52.8	10.2	1.6
	40代	2,756	25.8	54.8	16.2	3.3
	50代	3,166	22.5	54.2	19.2	4.1
	60代	1,945	15.8	50.7	26.5	7.0
	70代以上	520	7.7	38.1	39.2	15.0
最終学歴			***			
	中学校卒業	65	16.9	44.6	24.6	13.8
	高等学校卒業	2,631	16.4	50.1	26.5	7.1
	短大、高等専門学校卒業	617	20.6	56.1	18.8	4.5
	専門学校卒	859	26.1	54.2	15.4	4.3
	大学卒業	5,387	27.9	52.1	16.6	3.4
	大学院修了	864	32.8	54.2	11.5	1.6
	その他	69	30.4	42.0	21.7	5.8
指導者資格						
指導員		5,867	22.7	52.1	20.4	4.9
			***			
上級指導員		993	18.7	53.4	22.7	5.2
			***			
コーチ		1,570	28.2	53.6	15.7	2.5
			***			
上級コーチ		453	28.5	51.2	14.3	6.0
			*			
教師		724	34.9	47.7	13.7	3.7
			***			
上級教師		95	20.0	54.7	22.1	3.2
			n.s.			
スポーツプログラマー		327	31.8	46.8	18.3	3.1
			*			
フィットネストレーナー		50	38.0	44.0	14.0	4.0
			n.s.			
ジュニアスポーツ指導員		798	29.3	48.6	18.0	4.0
			*			
アスレティックトレーナー		409	43.0	49.6	5.9	1.5
			***			
スポーツドクター		352	25.6	56.5	13.9	4.0
			n.s.			
スポーツデンティスト		37	35.1	54.1	8.1	2.7
			n.s.			
アシスタントマネジャー		525	24.2	53.7	18.3	3.8
			n.s.			
クラブマネジャー		93	21.5	54.8	19.4	4.3
			n.s.			
(旧資格) スポーツトレーナー		23	21.7	56.5	13.0	8.7
			n.s.			
その他		296	30.4	51.0	13.9	4.7
			*			
指導の有無						
指導しなかった		1,694	30.0	49.7	15.6	4.7
			***			
指導した		8,798	23.8	52.5	19.4	4.4
			***			
指導レベル						
国際レベル		815	30.6	52.4	13.6	3.4
			***			
	全国レベル	3,695	25.5	52.1	18.2	4.2
	地域レベル	1,063	23.6	55.1	17.8	3.5
	都道府県レベル	2,049	22.3	53.2	19.7	4.8
	市区町村レベル	1,369	20.5	49.8	23.2	6.5
その他	1,501	27.9	50.0	18.4	3.7	

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表16 「今後のLGBTに関する情報収集」のクロス集計結果

		横%	とてもするだ ろう	多少はするだ ろう	あまりしないだ ろう	まったくしな いだろう
全体		10,492	9.0	50.2	32.2	8.7
性別			***			
	女性	2,120	14.0	56.4	24.2	5.4
	男性	8,317	7.5	48.6	34.3	9.5
	答えたくない わからない	37	27.0	45.9	16.2	10.8
	わからない	18	50.0	38.9	5.6	5.6
年齢層			***			
	20代	698	19.6	56.2	20.5	3.7
	30代	1,407	13.1	59.1	24.7	3.1
	40代	2,756	9.7	54.6	29.6	6.2
	50代	3,166	8.1	49.6	34.0	8.2
	60代	1,945	4.6	42.1	39.7	13.6
	70代以上	520	1.7	28.5	42.3	27.5
最終学歴			***			
	中学校卒業	65	7.7	35.4	30.8	26.2
	高等学校卒業	2,631	5.2	39.8	41.1	13.9
	短大、高等専門学校卒業	617	6.6	49.6	33.9	9.9
	専門学校卒	859	9.8	49.4	32.7	8.1
	大学卒業	5,387	10.3	53.8	29.3	6.6
	大学院修了	864	13.2	61.9	21.1	3.8
	その他	69	11.6	46.4	31.9	10.1
指導者資格						
指導員		5,867	7.9	48.4	34.0	9.7
			***			
上級指導員		993	7.2	45.9	34.7	12.2
			***			
コーチ		1,570	9.9	56.0	29.2	4.9
			***			
上級コーチ		453	12.1	52.5	26.3	9.1
			*			
教師		724	14.4	55.2	25.4	5.0
			***			
上級教師		95	9.5	48.4	33.7	8.4
			n.s.			
スポーツプログラマー		327	13.1	50.5	30.0	6.4
			*			
フィットネストレーナー		50	14.0	56.0	24.0	6.0
			n.s.			
ジュニアスポーツ指導員		798	11.7	48.7	29.9	9.6
			*			
アスレティックトレーナー		409	13.7	60.1	23.0	3.2
			***			
スポーツドクター		352	12.5	57.7	23.6	6.3
			***			
スポーツデンティスト		37	8.1	73.0	8.1	10.8
			*			
アシスタントマネジャー		525	7.8	54.5	31.8	5.9
			n.s.			
クラブマネジャー		93	5.4	55.9	30.1	8.6
			n.s.			
(旧資格) スポーツトレーナー		23	13.0	47.8	21.7	17.4
			n.s.			
その他		296	12.8	51.4	27.4	8.4
			n.s.			
指導の有無						
指導しなかった		1,694	9.4	52.2	29.6	8.8
			***			
指導した		8,798	8.9	49.8	32.7	8.6
			***			
指導レベル						
国際レベル		815	11.8	57.2	25.2	5.9
			***			
	全国レベル	3,695	9.8	50.1	32.1	8.0
	地域レベル	1,063	8.8	53.0	30.8	7.4
	都道府県レベル	2,049	8.1	47.2	35.2	9.5
	市区町村レベル	1,369	6.1	46.3	34.6	12.9
その他	1,501	9.4	52.1	30.8	7.7	

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル，色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表17 「LGBT当事者の存在認識」のクロス集計結果

		横%	現在いる	以前いた	いない、いなかった
全体		10,492	13.3	14.4	72.2
性別			***		
	女性	2,120	26.2	18.8	55.0
	男性	8,317	9.8	13.3	76.9
	答えたくない	37	35.1	21.6	43.2
	わからない	18	66.7	5.6	27.8
年齢層			***		
	20代	698	35.4	16.6	48.0
	30代	1,407	22.0	20.4	57.6
	40代	2,756	13.8	15.6	70.6
	50代	3,166	10.5	14.1	75.5
	60代	1,945	6.1	10.6	83.2
	70代以上	520	2.9	5.4	91.7
最終学歴			***		
	中学校卒業	65	10.8	12.3	76.9
	高等学校卒業	2,631	8.2	9.0	82.8
	短大、高等専門学校卒業	617	12.2	13.5	74.4
	専門学校卒	859	15.3	15.7	69.0
	大学卒業	5,387	14.5	15.9	69.6
	大学院修了	864	20.7	20.9	58.3
	その他	69	18.8	18.8	62.3
指導者資格			***		
	指導員	5,867	11.7	13.3	75.0
			***		
	上級指導員	993	10.1	10.9	79.1
			***		
	コーチ	1,570	15.4	17.6	67.0
			***		
	上級コーチ	453	15.0	17.9	67.1
			*		
	教師	724	21.1	22.0	56.9
			***		
	上級教師	95	13.7	10.5	75.8
			n.s.		
	スポーツプログラマー	327	21.1	16.8	62.1
			***		
	フィットネストレーナー	50	22.0	22.0	56.0
			*		
	ジュニアスポーツ指導員	798	16.3	13.4	70.3
			*		
	アスレティックトレーナー	409	27.6	23.2	49.1
			***		
スポーツドクター	352	19.6	19.3	61.1	
		***			
スポーツデンティスト	37	16.2	16.2	67.6	
		n.s.			
アシスタントマネジャー	525	11.6	11.8	76.6	
		n.s.			
クラブマネジャー	93	12.9	15.1	72.0	
		n.s.			
(旧資格) スポーツトレーナー	23	21.7	13.0	65.2	
		n.s.			
その他	296	20.9	16.6	62.5	
		***			
指導の有無			**		
	指導しなかった	1,694	15.6	14.3	70.1
	指導した	8,798	12.9	14.5	72.6
指導レベル			***		
	国際レベル	815	19.4	22.0	58.7
	全国レベル	3,695	13.6	15.6	70.8
	地域レベル	1,063	12.8	15.3	71.9
	都道府県レベル	2,049	11.8	12.9	75.4
	市区町村レベル	1,369	9.2	10.4	80.4
	その他	1,501	15.7	12.6	71.8

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表18 「LGBTに関して直面する課題」のクロス集計結果

		「さん」か「く ん」か、呼び 捨てにするか などの呼称	ユニフォーム やジャージな どの服装につ いて本人のニ ーズと合わ ない	LGBTの当事者 をチームメ イトに告げ るかで悩んで いる	本人が希望す る場合、LGBT であることを チームメイト などにどのよ うに周知する か	ある競技者が LGBTであるこ とを告げたこ とによって、 いじめや差別 的言動といっ た人間関係上 の様々な問題 が生じた	男女で練習メ ニューを分け る際にどちら の性別のメ ニューをやら せるか	競技会にエント リする際にど ちらの性別で エントリする か	どちらの性別 の更衣室や シャワーを使 うか	遠征や合宿な どの宿泊時に 、どちらの性別 の部屋に泊ま るか	
横%											
全体		10,492	14.6	14.1	24.9	31.3	25.7	16.4	29.6	39.8	39.1
性別		*	***	***	**	***	*	***	***	***	
女性	2,120	15.0	18.4	29.0	33.8	30.3	18.2	36.1	48.0	43.7	
男性	8,317	14.4	12.9	23.8	30.6	24.5	15.8	28.0	37.7	37.9	
答えたくない	37	24.3	27.0	32.4	43.2	29.7	18.9	29.7	43.2	35.1	
わからない	18	33.3	27.8	61.1	55.6	33.3	27.8	38.9	61.1	55.6	
年齢層		***	***	***	***	***	n.s.	n.s.	***	***	
20代	698	22.3	19.5	36.7	38.3	36.0	19.3	31.7	45.6	41.8	
30代	1,407	19.3	19.5	31.9	35.5	29.4	16.9	30.1	42.2	40.1	
40代	2,756	14.1	15.8	28.2	32.1	28.7	16.1	30.5	41.8	41.5	
50代	3,166	12.4	13.2	23.5	31.2	24.7	16.1	29.5	39.2	38.7	
60代	1,945	12.9	9.9	17.6	28.2	20.2	15.7	29.1	37.4	37.5	
70代以上	520	14.0	5.0	9.2	18.7	12.1	16.2	24.2	28.3	27.7	
最終学歴		*	***	***	n.s.	**	**	n.s.	n.s.	*	
中学校卒業	65	12.3	3.1	15.4	24.6	27.7	13.8	24.6	35.4	35.4	
高等学校卒業	2,631	13.4	10.8	21.4	30.1	23.1	15.1	29.2	37.9	36.9	
短大、高等専門学校卒業	617	12.6	12.2	22.4	28.5	24.5	15.7	30.3	40.7	36.5	
専門学校卒	859	15.4	16.1	26.4	32.8	28.2	21.8	31.5	43.0	39.5	
大学卒業	5,387	14.8	15.1	26.1	31.9	26.7	16.1	29.4	39.8	40.0	
大学院修了	864	17.8	18.8	30.1	32.9	26.0	17.1	30.8	42.4	42.0	
その他	69	15.9	13.0	14.5	27.5	17.4	18.8	30.4	42.0	33.3	
指導者資格											
指導員	5,867	13.5	13.3	24.3	31.2	25.7	15.7	29.6	38.7	38.6	
		***	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	
上級指導員	993	15.1	11.5	19.0	29.3	20.5	16.6	29.6	39.0	38.8	
		n.s.	*	***	n.s.	***	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
コーチ	1,570	16.9	16.4	27.6	32.8	27.0	15.9	29.4	42.3	41.8	
		**	**	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	*	
上級コーチ	453	14.3	12.4	23.6	28.9	22.1	12.8	24.9	37.1	36.2	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	*	n.s.	n.s.	
教師	724	18.2	18.4	29.1	34.9	25.7	14.1	29.1	41.4	40.1	
		**	**	**	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
上級教師	95	17.9	11.6	22.1	32.6	18.9	15.8	35.8	48.4	47.4	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
スポーツプログラマー	327	17.7	16.2	26.0	30.0	25.1	16.5	30.0	46.2	38.5	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	
フィットネストレーナー	50	14.0	18.0	22.0	34.0	38.0	24.0	32.0	52.0	40.0	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
ジュニアスポーツ指導員	798	14.9	14.9	24.1	31.0	26.9	16.0	28.7	40.0	37.5	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
アスレティックトレーナー	409	18.6	14.2	31.5	34.2	29.6	19.1	28.9	43.8	38.1	
		*	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
スポーツドクター	352	14.2	17.9	30.1	32.4	28.1	21.3	30.4	42.9	42.9	
		n.s.	*	*	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	
スポーツデンティスト	37	10.8	16.2	29.7	43.2	24.3	24.3	32.4	48.6	48.6	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
アシスタントマネジャー	525	17.3	13.0	25.1	30.7	29.3	18.5	32.0	42.7	40.2	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
クラブマネジャー	93	15.1	15.1	24.7	26.9	22.6	17.2	24.7	34.4	36.6	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
(旧資格) スポーツトレーナー	23	13.0	8.7	13.0	26.1	17.4	17.4	21.7	30.4	30.4	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	
その他	296	14.5	14.2	25.0	34.5	28.0	19.9	31.8	46.6	43.9	
		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	
指導の有無		n.s.	***	**	n.s.	n.s.	***	*	**	*	
指導しなかった	1,694	15.2	17.1	27.9	32.6	27.3	20.0	32.1	43.2	41.6	
指導した	8,798	14.5	13.6	24.4	31.1	25.4	15.7	29.2	39.2	38.6	
指導レベル		n.s.	**	*	*	*	*	n.s.	*	**	
国際レベル	815	16.4	14.8	27.7	32.6	24.9	15.0	28.3	41.1	41.5	
全国レベル	3,695	14.7	14.4	25.0	31.1	25.2	15.3	29.1	39.2	39.8	
地域レベル	1,063	13.9	14.4	26.5	33.2	24.5	16.2	31.7	40.5	40.7	
都道府県レベル	2,049	15.1	12.6	23.6	31.5	26.5	15.7	29.8	39.6	38.0	
市区町村レベル	1,369	13.4	12.4	22.2	27.6	23.6	17.0	28.3	36.7	34.9	
その他	1,501	14.1	16.6	26.5	33.1	28.9	20.1	31.2	43.3	40.1	

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する

表19 「LGBTの課題に対する要望」のクロス集計結果

		横%	情報がほしい	研修会を開いてほしい	指導者講座に含めてほしい	協会や連盟に具体的な対策をとってほしい
全体		10,492	40.7	16.5	43.0	30.2
性別			***	*	n.s.	*
	女性	2,120	46.3	17.9	44.0	28.4
	男性	8,317	39.2	16.1	42.8	30.6
	答えたくない	37	43.2	16.2	40.5	40.5
	わからない	18	72.2	38.9	50.0	55.6
年齢層			***	***	***	n.s.
	20代	698	63.5	23.5	32.5	30.9
	30代	1,407	53.4	21.3	39.1	30.1
	40代	2,756	44.4	17.5	40.8	31.2
	50代	3,166	36.4	15.6	44.8	29.4
	60代	1,945	29.5	12.9	49.5	29.3
	70代以上	520	23.7	7.9	44.4	33.1
最終学歴			***	***	n.s.	**
	中学校卒業	65	32.3	12.3	41.5	32.3
	高等学校卒業	2,631	32.7	11.3	42.9	31.9
	短大、高等専門学校卒業	617	38.2	15.9	46.8	30.3
	専門学校卒	859	43.2	16.3	41.4	33.9
	大学卒業	5,387	42.9	18.1	42.6	28.5
	大学院修了	864	50.7	22.5	44.3	32.1
	その他	69	39.1	21.7	50.7	30.4
指導者資格						
指導員		5,867	38.7	15.3	42.9	30.1
			***	***	n.s.	n.s.
上級指導員		993	35.0	13.6	49.1	28.9
			***	*	***	n.s.
コーチ		1,570	45.0	17.2	43.5	28.4
			***	n.s.	n.s.	n.s.
上級コーチ		453	40.2	19.2	41.1	29.4
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
教師		724	45.9	19.6	41.4	28.0
			**	*	n.s.	n.s.
上級教師		95	38.9	10.5	35.8	34.7
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
スポーツプログラマー		327	47.4	21.1	44.3	29.1
			*	*	n.s.	n.s.
フィットネストレーナー		50	46.0	24.0	38.0	30.0
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
ジュニアスポーツ指導員		798	42.6	20.7	45.7	27.1
			n.s.	**	n.s.	*
アスレティックトレーナー		409	60.4	21.3	35.9	35.2
			***	**	**	*
スポーツドクター		352	43.2	26.1	38.9	40.3
			n.s.	***	n.s.	***
スポーツデンティスト		37	48.6	21.6	48.6	32.4
			n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
アシスタントマネジャー		525	40.0	19.2	48.8	28.0
			n.s.	n.s.	**	n.s.
クラブマネジャー		93	37.6	31.2	44.1	22.6
			n.s.	***	n.s.	n.s.
(旧資格) スポーツトレーナー		23	47.8	34.8	34.8	30.4
			n.s.	*	n.s.	n.s.
その他		296	44.6	18.9	36.8	31.8
			n.s.	n.s.	*	n.s.
指導の有無			n.s.	***	n.s.	**
	指導しなかった	1,694	42.1	19.7	43.3	33.3
	指導した	8,798	40.4	15.9	43.0	29.6
指導レベル			***	***	*	n.s.
	国際レベル	815	44.5	20.6	42.7	30.8
	全国レベル	3,695	41.7	16.8	42.4	29.9
	地域レベル	1,063	44.5	16.2	42.1	28.3
	都道府県レベル	2,049	37.9	15.4	44.9	31.4
	市区町村レベル	1,369	35.1	13.6	39.8	31.6
	その他	1,501	42.2	17.7	45.8	29.4

※1：\*：p<0.05；\*\*：p<0.01；\*\*\*：p<0.001

※2：色が濃く白文字のセルは期待度数より実測度数が有意に多いセル、色が薄く黒文字のセルは有意に少ないセルを意味する



## 参考資料 1. 調査票（スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査）

### スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査

#### 《調査へのご協力をお願い》

- 本調査は、公益財団法人日本体育協会のマイページに登録している公認スポーツ指導者を対象として行われます。
- 本調査は、スポーツ指導者に求められる指導上の配慮について、指導者の皆さんのお考えや経験を把握することによって、今後のスポーツ指導に役立てようとするものです。
- 調査結果は統計的に処理しますので、回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は学会発表や論文など、学術的な目的に使用することがあります。
- この調査への回答は任意ですので、どうしても回答したくない場合には回答しなくて結構です。
- 調査への協力や回答内容が、回答者の評価に影響することはありません。
- 調査にご協力いただける場合は、回答もれのないようすべての質問にお答えください。

#### 《回答方法》

- 本調査における回答方法は、以下の2種類です。
  - あてはまる選択肢を選ぶもの
  - 具体的な数字や文字を記入するもの

問 1. あなたの性別についてうかがいます。ここでは、あなたが自認する性別をお知らせください。

1. 女性
2. 男性
3. 答えたくない
4. わからない

問 2. 現在の年齢をお知らせください。

(         ) 歳

問 3. あなたの最終学歴をお知らせください。

1. 中学校卒業
2. 高等学校卒業
3. 短大、高等専門学校卒業
4. 大学卒業
5. 大学院修了
6. その他

問 4. あなたが現在取得している指導者資格の名称をお知らせください。（複数回答可）

1. 指導員
2. 上級指導員
3. コーチ
4. 上級コーチ
5. 教師
6. 上級教師

7. スポーツプログラマー
8. フィットネストレーナー
9. ジュニアスポーツ指導員
10. アスレティックトレーナー
11. スポーツドクター
12. スポーツデンティスト
13. アシスタントマネジャー
14. クラブマネジャー、
15. (旧資格)スポーツトレーナー
16. その他 ( )

問5. あなたはこの1年間にスポーツの指導を行いましたか。

1. 指導しなかった
2. 指導した

問6. 「この1年間にスポーツの指導を行った」とお答えの方にお伺いします。

あなたが指導した競技の名称と指導を開始した年齢、指導の頻度や時間をお知らせください。

※ この1年間のことに限らずお答えください。

※ 複数の競技を指導した場合は、あなたの中でもっとも位置づけが高い競技を選んでお答え下さい。

競技名 ( )  
指導開始年齢 ( ) 歳  
時間～1回あたり 約 ( ) 分

問7. 引き続き、「この1年間にスポーツの指導を行った」とお答えの方にお伺いします。

前問でお答えの、<競技名> の競技の指導の頻度をお知らせください。

※ この1年間のことに限らずお答えください。

1. ほぼ毎日(週に6回以上)
2. 週に4～5回程度
3. 週に2～3回程度
4. 週に1回程度
5. 月に2～3回程度
6. 月に1回程度
7. 2～3ヶ月に1回程度
8. 半年に1回程度
9. 1年に1回程度
10. それ以下の頻度

問8. スポーツ指導者としてあなたがこれまでに競技者を出場させた最高レベルの大会やリーグについて、あてはまるものを1つお選びください。

あまり競争的ではない競技で判断に迷う場合は「その他」を選んでください。

1. 国際レベル
2. 全国レベル

3. 地域レベル（“東北大会”など）
4. 都道府県レベル
5. 市区町村レベル
6. その他

問9. 次の文章のうち、正しいと思う番号すべてをお選びください。（複数回答可）

1. 同性の人に愛情を感じる人がいる
2. 身体の性別は、女性または男性のどちらかに明確に分かれるとは限らない
3. 自分の身体的な性別とは異なる性別で生きたいと願う人がいる
4. 同性愛は、本人の意思で変えることはできない
5. 日本では、戸籍上の性別を変えることができる
6. 日本の現在の法律では、同性のカップルは結婚できない
7. オリンピック大会には、ある条件を満たした場合のみ、性別を変更した選手が変更後の性別で出場することができる
8. 同性愛者の国際的なスポーツ大会がある
9. スポーツの大会では、女性選手にのみ、性別確認のための検査を行うことがある
10. この中に正しいと思うものはない

問 10. あなたはこれまでに日常生活において、次のような出来事に直面したことはありますか。あてはまる番号すべてをお選びください。（複数回答可）

1. 同性の人に言い寄られた
2. 二人の男性や二人の女性が人前で手をつないでいるのを見た
3. 性別がよくわからない人に出会った
4. 自分の性別に悩んでいると打ち明けられた
5. 前から知っている人に、昔は別の性別だったと打ち明けられた
6. あてはまるものはない

最近、LGBT という言葉が日本でも使われるようになりました。LGBT とは以下の用語の頭文字を並べたものです。

- Lesbian (レズビアン)：女性に対して性的魅力を感じる女性
- Gay (ゲイ)：男性に対して性的魅力を感じる男性
- Bisexual (バイセクシュアル)：男女両方に性的魅力を感じる人
- Transgender (トランスジェンダー)：出生時に与えられた性別に違和を感じる人、性自認が男女2つのカテゴリーに収まらない人、社会的に期待される性役割に収まらない人などの総称。

「井谷聡子(2016)日本スポーツとジェンダー学会編「データでみる スポーツとジェンダー」八千代出版,p151 を一部加筆修正」

問 11. あなたはこれまでに LGBT という言葉を聞いたことがありますか。

1. ある ⇒ 問 12 へ
2. ない ⇒ 問 16 へ

問 12. あなたはこれまで、周りの人と比べて LGBT についてどれくらい知っていたと思いますか。

1. 周りの人よりは知っていた
2. 周りの人と同じくらい

3. 周りの人よりは知らなかった
4. まったく知らなかった

問 13. あなたはこれまで、LGBT について知る必要性をどれくらい感じましたか。

1. とても感じた
2. 多少は感じた
3. あまり感じなかった
4. まったく感じなかった

問 14. あなたはこれまで、LGBT についてどれくらい調べたり情報を集めてきましたか。

1. よくしてきた
2. 時々してきた
3. あまりしてこなかった
4. まったくしてこなかった

問 15. あなたの身の回りに LGBT の当事者はいますか（いましたか）。ここでの当事者とは、LGBT であることを本人が“公にした人”あるいは“あなたに告げた人”とします。

1. 現在いる
2. 以前いた
3. いない、いなかった

問 16. 「身の回りに LGBT の当事者が現在いる(以前いた)」とお答えの方にお伺いします。

それはあなたが指導をしている(していた)競技者ですか。

1. はい
2. いいえ

問 17. スポーツの環境では、LGBT について以下のような点で課題があると報告されています。これらの中に、あなた自身が直面した課題はありますか。あてはまる番号すべてをお選びください。これまであなたの身の回りに LGBT の当事者がいなかった場合は、あなたがもし直面したら対応に困るものをお答えください。(複数回答可)

1. 「さん」か「くん」か、呼び捨てにするかなどの呼称
2. ユニフォームやジャージなどの服装について本人のニーズと合わない
3. LGBT の当事者が LGBT であることをチームメイトに告げるかで悩んでいる
4. 本人が希望する場合、LGBT であることをチームメイトなどにどのように周知するか
5. ある競技者が LGBT であることを告げたことによって、いじめや差別的言動といった人間関係上の様々な問題が生じた
6. 男女で練習メニューを分ける際にどちらの性別のメニューをやらせるか
7. 競技会にエントリーする際にどちらの性別でエントリーするか
8. どちらの性別の更衣室やシャワーを使うか
9. 遠征や合宿などの宿泊時に、どちらの性別の部屋に泊まるか
10. あてはまるものはない

問 18. あなたは今後、LGBT について知る必要性をどれくらい感じますか。

1. とても感じる
2. 多少は感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

問 19. あなたは今後、LGBT について調べたり情報を集めたりすると思いますか。

1. とてもするだろう
2. 多少はするだろう
3. あまりしないだろう
4. まったくしないだろう

問 20. スポーツ指導における LGBT の課題について、あなたの要望があればお知らせください。  
(いくつでも)

1. 情報がほしい
2. 研修会を開いてほしい
3. 指導者講習会の講義内容に含めてほしい
4. 協会や連盟に具体的な対策をとってほしい
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 21. 男性と女性の役割について、あなたのご意見をお知らせください。以下の文章のうち、あなたの考えと一致する番号すべてをお選びください。

1. 女性が社会的地位や賃金の高い職業を持つと結婚するのがむずかしくなるから、そういう職業は持たないほうがよい
2. 結婚生活の重要事項は夫が決めるべきである
3. 主婦が働くこと夫をないがしろにしがちで、夫婦関係にひびが入りやすい
4. 女性の居るべき場所は家庭であり、男性の居るべき場所は職場である
5. 主婦が仕事を持つと、家事の負担が重くなるのでよくない
6. 結婚後、妻は必ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧姓で通してもよい
7. 家事は男女の共同作業となるべきである
8. 子育ては女性にとって一番大切なキャリアである
9. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てることが非常に大切である
10. 娘は将来主婦に、息子は職業人になることを想定して育てるべきである
11. 女性は家事や育児をしなければならぬから、フルタイムで働くよりパートタイムで働いたほうがよい
12. 女性の人生において、妻であり母であることも大事だが、仕事をするのもそれと同じくらい重要である
13. 女性は子どもが生まれても、仕事を続けたほうがよい
14. 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい
15. 女性は家事や育児をしなければならぬから、あまり責任の重い、競争の激しい仕事をしないほうがよい

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。